



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月10日

上場会社名 互応化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西川 憲一 TEL 0774-46-7777
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,625	0.6	633	6.0	721	△1.4	509	11.7
27年3月期第3四半期	5,590	1.5	597	8.0	731	13.0	456	△26.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 459百万円 (△17.5%) 27年3月期第3四半期 556百万円 (△26.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	77.46	—
27年3月期第3四半期	68.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	15,525	85.7	13,340	85.7		
27年3月期	15,262	86.4	13,214	86.4		

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 13,306百万円 27年3月期 13,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,430	△0.9	840	2.5	945	△2.4	670	12.4	102.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	6,992,000株	27年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	461,515株	27年3月期	361,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	6,580,485株	27年3月期3Q	6,630,485株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、緩やかな回復基調から踊り場に入り、転換期を迎えています。また、世界経済は中国をはじめとする新興国経済の減速、欧州経済の混迷度の深まり、米国の出口戦略の影響などに加え、地政学的リスクの増加により先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、電子産業用分野は低調に推移、繊維分野については国内は堅調ながらも、輸出は低調な動きとなりました。

その他の分野では、水溶性ポリエステル樹脂関連は引き続き好調、化粧品関連も好調に推移しました。

また、市場の低迷が続いていた印刷関連分野においても、持ち直しの傾向にあり、環境を考慮した製品を投入するなど、今後の市場ニーズを担う展開を図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,625百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は633百万円（同6.0%増）、経常利益は721百万円（同1.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は509百万円（同11.7%増）の増収増益となりました。

当社は引き続き「独自技術で社会に貢献する」というMission（使命）を果たすため、人を豊かにする製品を提供できる様に、社員一人ひとりが互いに応じ成長し合うという「互応の精神」のもと、同志的結合をもって創る技術と使う技術を駆使しながら、「一緒にわくわく、一番わくわく」のスローガンを「いちわく」と合言葉にして実践し、社員のみならず、取引先はもとより株主のみならず共に「わくわく」できる組織風土創生を目指してまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で繊維業界につきましては、国内市場はこれまで好調を支えた細番手織物が生産調整となりましたが、円安による織物生産の国内回帰により安定した推移となりました。一方、海外市場は中国や韓国で細番手織物が生産調整となるなか、競争の激化もあり、やや低調な推移となりました。その中で当社グループは、新規ユーザーの獲得を進めましたが、輸出の減少によりやや低調な推移となりました。

製紙・印刷関連業界につきましては、パッケージ用途が市況停滞からやや持ち直し、ダイレクトメール用途も復調傾向となり堅調な推移となりました。その中で当社グループは、既存製品の高性能化を図るとともに、環境対策関連製品として非危険物プレスニスや水性圧着ニス、省エネルギーシステムに対応した高感度UVニスの開発に注力した結果、堅調に推移しました。

化粧品業界につきましては、洗浄剤分野でインバウンド効果が見られました。その中で当社グループは、シャンプー・コンディショナー用添加剤用途の製品開発と拡販を積極的に進め、好調に推移しました。また、ヘアスタイリング剤は積極的な樹脂開発と新規ユーザーの開拓、メーカー分野への展開を行い、国内外ともに賢調に推移しました。

その他工業用分野につきましては、水溶性ポリエステル樹脂において光学フィルム用途のディスプレイ向けが減速、海外市場では競争が激化し、やや低調な推移となりました。一方で、包装用フィルムやテキスタイル用途が海外で活発な動きとなり好調な推移となりました。このほか転写用樹脂は、国内外ともに円安効果で好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は4,694百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は1,017百万円（同12.5%増）となりました。

(混合系製品)

混合系製品につきましては、国内においては自動車関連やLED関連が好調に推移しました。しかし、アミューズメント関連が受注の谷間となり低調に推移し、スマートフォン向けも在庫調整のため低調に推移しました。輸出においてはタッチパネル用途やPCB用途の市況が悪化し低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は930百万円（同10.0%減）、営業利益は8百万円（同70.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は15,525百万円と前連結会計年度末に比べ、263百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ303百万円増加し10,936百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が168百万円、原材料及び貯蔵品が56百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ40百万円減少し4,588百万円となりました。これは、有形固定資産が15百万円、投資その他の資産が28百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ123百万円増加し1,655百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が54百万円、賞与引当金が56百万円それぞれ減少しましたが、電子記録債務が258百万円、未払法人税等が19百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ13百万円増加し530百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が7百万円、退職給付に係る負債が6百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ125百万円増加し13,340百万円となりました。これは、自己株式が135百万円増加しましたが、利益剰余金が310百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から773百万円減少し1,983百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は660百万円(前年同期比78.5%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益734百万円(同6.5%増)に対し、売上債権の増加額161百万円

(同17.8%増)、たな卸資産の増加額83百万円(同38.3%減)及び未払消費税等の減少額53百万円(前年同期は増加額74百万円)、並びに法人税等の支払額185百万円(前年同期比54.1%減)があったものの、減価償却費246百万円(同8.0%増)、仕入債務の増加額208百万円(同12.3%増)があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,102百万円(前年同期は増加額291百万円)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入4,863百万円(前年同期比0.1%増)がありましたが、定期預金の預入による支出5,663百万円(同29.9%増)及び有形固定資産の取得による支出301百万円(同48.4%増)があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は333百万円(同68.0%増)となりました。これは、自己株式の取得による支出135百万円(前年同期は一)及び配当金の支払額198百万円(前年同期比0.0%増)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおきましては、第3四半期以降も売上高に大きな変化はありませんが、当第3四半期の結果を踏まえ、売上原価が当初計画を下回る見込みとなりましたので、通期の業績予想を下記のとおり修正いたしました。なお、平成27年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想との差異は以下のとおりです。

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,600	680	760	510	76.92
今回修正予想 (B)	7,430	840	945	670	102.00
増減額 (B - A)	△170	160	185	160	—
増減率 (%)	△2.2	23.5	24.3	31.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	7,496	819	968	596	89.89

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,193,364	7,219,495
受取手形及び売掛金	1,958,685	2,127,132
商品及び製品	632,370	674,225
仕掛品	297,417	281,402
原材料及び貯蔵品	471,295	528,238
繰延税金資産	57,212	37,704
その他	24,896	71,490
貸倒引当金	△1,638	△2,811
流動資産合計	10,633,604	10,936,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,800,731	3,999,751
減価償却累計額	△3,050,765	△3,094,872
建物及び構築物(純額)	749,965	904,878
機械装置及び運搬具	6,443,327	6,456,428
減価償却累計額	△5,798,641	△5,913,878
機械装置及び運搬具(純額)	644,686	542,549
工具、器具及び備品	912,817	972,124
減価償却累計額	△833,701	△823,906
工具、器具及び備品(純額)	79,116	148,217
土地	2,067,816	2,067,816
建設仮勘定	143,978	7,004
有形固定資産合計	3,685,562	3,670,466
無形固定資産		
投資その他の資産	104,801	108,295
投資有価証券	815,583	743,922
繰延税金資産	9,860	40,908
その他	23,489	44,129
貸倒引当金	△10,455	△18,934
投資その他の資産合計	838,477	810,025
固定資産合計	4,628,841	4,588,786
資産合計	15,262,445	15,525,664

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	564,101	509,376
電子記録債務	417,981	676,964
未払金	203,878	166,835
未払費用	14,584	2,483
未払法人税等	66,093	85,320
賞与引当金	118,222	61,883
役員賞与引当金	30,500	22,875
その他	116,390	129,705
流動負債合計	1,531,753	1,655,444
固定負債		
役員退職慰労引当金	115,861	123,630
退職給付に係る負債	400,214	406,567
繰延税金負債	276	—
固定負債合計	516,352	530,198
負債合計	2,048,105	2,185,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	11,484,557	11,795,335
自己株式	△268,988	△404,088
株主資本合計	12,885,558	13,061,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,133	174,078
為替換算調整勘定	74,151	71,458
その他の包括利益累計額合計	296,285	245,536
非支配株主持分	32,495	33,247
純資産合計	13,214,339	13,340,021
負債純資産合計	15,262,445	15,525,664

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	5,590,358	5,625,028
売上原価	3,595,912	3,472,571
売上総利益	1,994,446	2,152,456
販売費及び一般管理費	1,396,833	1,519,070
営業利益	597,613	633,386
営業外収益		
受取利息	7,739	8,537
受取配当金	47,752	48,269
為替差益	37,288	—
受取ロイヤリティー	39,789	36,888
その他	9,566	10,122
営業外収益合計	142,135	103,819
営業外費用		
売上割引	5,687	8,101
為替差損	—	7,266
支払補償費	2,345	174
その他	130	599
営業外費用合計	8,163	16,142
経常利益	731,585	721,063
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13,921
固定資産売却益	1,693	1,499
特別利益合計	1,693	15,421
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	100	—
固定資産売却損	—	737
固定資産除却損	617	1,273
役員退職慰労金	43,099	—
特別損失合計	43,816	2,010
税金等調整前四半期純利益	689,462	734,474
法人税、住民税及び事業税	174,695	212,894
法人税等調整額	56,530	10,977
法人税等合計	231,225	223,872
四半期純利益	458,236	510,601
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	456,403	509,693
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,832	908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80,644	△48,055
為替換算調整勘定	18,018	△2,849
その他の包括利益合計	98,663	△50,905
四半期包括利益	556,900	459,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	554,076	458,944
非支配株主に係る四半期包括利益	2,823	751

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	689,462	734,474
減価償却費	228,670	246,857
貸倒引当金の増減額(△は減少)	149	9,679
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53,925	△56,338
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,625	△7,625
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,245	6,426
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△50,561	7,769
受取利息及び受取配当金	△55,491	△56,807
為替差損益(△は益)	△15,398	△3,606
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△13,921
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,693	△762
有形固定資産除却損	617	1,273
売上債権の増減額(△は増加)	△136,911	△161,269
たな卸資産の増減額(△は増加)	△135,157	△83,416
仕入債務の増減額(△は減少)	185,889	208,787
未払消費税等の増減額(△は減少)	74,684	△53,813
未払金の増減額(△は減少)	11,049	44,256
未払費用の増減額(△は減少)	△10,829	△12,036
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△41,785	△49,310
その他の流動負債の増減額(△は減少)	35,185	52,389
その他	3,970	△24,507
小計	718,051	788,497
利息及び配当金の受取額	56,746	57,592
法人税等の支払額	△404,936	△185,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	369,861	660,238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,360,409	△5,663,703
定期預金の払戻による収入	4,860,469	4,863,936
投資有価証券の取得による支出	△5,616	△5,766
投資有価証券の売却による収入	—	20,469
有形固定資産の取得による支出	△203,048	△301,408
有形固定資産の売却による収入	2,393	1,950
無形固定資産の取得による支出	—	△17,400
貸付けによる支出	△1,674	△760
貸付金の回収による収入	126	946
その他	△585	△692
投資活動によるキャッシュ・フロー	291,656	△1,102,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△135,100
配当金の支払額	△198,753	△198,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198,753	△333,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,267	2,512
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	481,031	△773,605
現金及び現金同等物の期首残高	2,004,373	2,757,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,485,405	1,983,492

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が135,100千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が404,088千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,555,995	1,034,363	5,590,358	—	5,590,358
セグメント間の内部売 上高又は振替高	175,102	—	175,102	△175,102	—
計	4,731,098	1,034,363	5,765,461	△175,102	5,590,358
セグメント利益	903,968	27,570	931,539	△333,926	597,613

(注) 1. セグメント利益の調整額△333,926千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,694,181	930,847	5,625,028	—	5,625,028
セグメント間の内部売 上高又は振替高	145,077	—	145,077	△145,077	—
計	4,839,258	930,847	5,770,105	△145,077	5,625,028
セグメント利益	1,017,077	8,248	1,025,326	△391,939	633,386

(注) 1. セグメント利益の調整額△391,939千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。